

市野川、太郎丸流域の治水対策は

排水ポンプを設置する

柳 勝次議員

問 市野川、太郎丸流域地区の方は台風や大雨の度に浸水の恐怖にさらされている。根本的な対策が必要である。当地区の治水対策は建設課長 県の治水目標は時間雨量五十ミリの降雨に耐えられるような整備を実施している。下流から徐々に工事を進めているので嵐山は未だ先になる。当地区については応急対策として排水ポンプを設置する。今回補正予算化した。

また、台風や大雨に対する避難勧告等の危機管理は、建設課長 本格的改修は当分先になるので木の伐採や浸水を県に要望していく。総務課長 危機管理については地域防災計画の中で当地区の排水ポンプ使用の有無や状況によって避難勧告等を発令します。

再問 排水ポンプ設置は当地区の住民の方も、当面安

川に水位計の設置を再々問 排水ポンプ使用の基準では判断が分かりにく

総合振興計画 後期の進め方は パブリックコメントを 十一月に予定している

根岸 豊議員



サブグラウンドが待たれる鎌形球場

問 平成十三年三月に策定した第四次総合振興計画基本構想は今年で前期計画が終了、来年度より後期計画の五年間が始まる。現在の進捗状況と今後の進め方は。また、十一月にパブリックコメントを考えていると聞くが対応は。実施計画・財政計画との整合性をもたせ十二月定例会に報告できないか。

答 今年三月にアンケートを実施した。対象二千二百人で回答は九七〇人で回収率は四十八・七％であった。公募三人を含めた審議会を設置し、前期計画の検証、後期計画の検討会を八二回開催した。庁内プロジェクトは一月より九回開いた。十一月にはパブリックコメントを予定している。基本構想の一部見直しも考えている。十二月定例会に出せるよう努力したい。

問 学校指定物品購入にあたり指定店の基準は、公平性は保たれているか。学務課長 それぞれの学校長の責任で行っている。



大雨のときに逆流が起こる川島川 (写真：左側)

い、壁岸や橋脚に直接水位計を設置できないか。建設課長 今度精進橋を掛け替えるので橋脚に水位計をつけるよう県に要望する。出来ない時は当地区の支流合流点の壁岸に設置したい。ヤオコー交差点に音声信号機設置を問 最近の平沢地区のヤオコーショッピングモールの盛況、発展振りは本町にとっても大変喜ばしい限りである。そうした中で、利用者の中には視覚障害者の方

も利用しています。そこで254パイパスと平沢都市計画道路の交差点信号機に音声信号機(視覚障害者用)の設置が出来ないか、お伺いします。総務課長 当箇所は今年度中に四車線化工事が完了予定になっている。その工事に音声付き信号機取り付けの要望が出るかどうか早速、小川警察署と協議したいと考えています。その他福祉政策、公共物の耐震計画等五点の質問を

福祉循環バスの 今後の方向性は 対応策を 検討中である

鈴木 勝江議員

問 福祉循環バスの事業は庁舎ができると同時に開始され十年が経過しようとしている。その間住民の要望に対応しながら進めてきているが、今までの利用状況をふまえ、この事業に対してどの様に考えているのか、また今後の方向性は。福祉課長 十六年度の利用者は九〇九〇人、前年度より若干増加傾向であった。平成八年五月運行開始以来十年程経過、耐用年数も過ぎ走行キロ数も三六万Kmを超えかなり故障も多く老朽化している状態、今後買い換えの必要性も生じてきて

いる。現在公共交通機関として町内バス路線が開設、移送サービスとしてはNPOを中心とした体制が整備されつつある。この様な事をふまえて今後どの様な対応がよいか検討している。指導力不足教員の現状と対応

問 平成十六年の文部科学省の調査によると、子どもと人間関係が築けず授業が成り立たない「指導力不足」と認定された公立の教員は十五年度より八五人増えて過去最多になったと言われているが町の現状は。教育長 「指導力不足教員